

高齢者世帯へ夕食お弁当をお届けしました

*** 今期2回目、全集落対象 ***

2月16日、高齢者世帯へ手作り弁当をお届けしました。今期2回目で、全集落の概ね75歳以上の独居の方と、世帯全員がほぼ80才以上の方々、合わせて176人へ区長さん経由でお届けしました。

年2回ずつお届け出来ればとの永年の懸案が今期ようやく実現しました。

費用はふるさと納税制度を利用して当協議会指名でお寄せ頂いた応援金と、香典返しなどで頂いた寄付金とを活用した事業で、そのご厚志が込められています。

いつもの女性部会員と女性ボランティア Gr.から成る10人のメンバーにより、地産地消と栄養バランスを考慮して調理された「まごころ弁当」、今回も好評を頂けた筈です。

今回は「きなこもち」のデザートも添えました。

なお、今回のレシピの中にあつた「ふっくらサトイモ」は、萱籠の元永淳一さんから差し入れ頂いた、見事な材料を使用しました。

美味しさ、栄養バランス
を兼ね備えたレシピ



↑ 2日がかりの大仕事を終え、労い合い、憩う女性ボランティアグループ

津房探訪ツアー開催します!

津房郷をおもに徒歩で巡る恒例のツアーを開催します。日ごろの運動不足の解消と、一足早い春を満喫することを兼ね、大勢の方が参加されますようご案内します。

【日時】 3月22日(土)

午前9:00 ~ 12:30

【集合場所】 津房地区公民館の駐車場

【コース】

車相乗り ~ 大成(おなり)入口 ~ 丸田棚田巡り
~ 五柱神社 ~ 鰻絵 ~ 丸田公民館 ~ 棚田 ~
丸田石橋 ~ 津房公民館帰着後 << 昼食 >>

* 行程: 3km 高低差: 75m *

② 昼食後、健脚のひと向けのオプションツアーも準備しています。(当日エントリー)

仙人田茶屋 ~ 林道 ~ 東椎屋の滝上部に至る
全行程 1.2kmです。

【参加申込、費用】

無料です。軽い昼食提供あり

* 参加ご希望の方、事前申し込みをお願いします

(締め切り: 3月18日)

☎: 48-2001 (地区公民館) 岡 又は 井福 まで



ご寄付のお知らせ

井福 豊年さん(松本)より
ご尊父 忠様(享年百歳)のご逝去に
際しての香典返しの際としてご寄付を頂戴
いたしました。

西村 和子さん(丸田)より
ご夫君 寿様(享年八十七歳)のご逝去に
際しての香典返しの際としてご寄付を頂戴
いたしました。

たいへん有難うございました
当協議会の高齢者対象事業に活用させて
いただき、ご意向にお応えして参ります

茶飲みの市ご案内

地区公民館主催の標題のイベントが
3月23日(日) 13:00~ 開催
されます。

今回は不用品のバザー主体です。
持ち寄り、買い付けの両方に奮って
ご参加ください

令和七年度の 取り組み(希望事業)を募集!



令和七年度、当協議会の活動十六年目を迎えます。人口減少と高齢化が進み、「全般的な地区の元気さ」が衰えつつある中、少しでも住民が住みやすく、生きがいを実感できる地区を実現しようと、いろいろな事業に取り組んできましたが、課題の多さと協議会の力不足が相まって、まだまだ住民各位にご満足頂けるような成果には繋がっておりません。

3月は次年度の取り組み事業項目と優先順位を決め、事業計画書として纏める時期に当たりますので、住民各位からのご意見を十分に反映したものと、限られた当協議会の資源で最大限の効果をおげられる様にすべく、令和七年度から新規に取り組むべき事業や、従来からの事業で最優先度を高めるべき事業について、各位のご意見を伺わせさせて頂きます。

当協議会事務局または役員へ直接連絡頂くことは勿論、集落の区長さん経由でも結構ですので、忌憚のないご意見をお寄せ願います。

減災グッズを追加配備しました



当地区では、春先の林野火災が多く発生しますが、その消火活動で大きな助っ人となる「背負い式消火水のう」の拡充を図りたい、との消防団の要望を受け、商品名:「ファイヤーハンター」を5セット購入、2月17日に自主防災部会役員の佐藤浩一、岩男博之の両氏から第20分団長の濱野俊久氏へ機庫への配備を委託しました。

一昨年分の10セットに今回分が加わり、合計15セットの配備となります。

当装備は使用しなくて済めばベストですが、「万一の備えも怠りなく!」が第20分団の真骨頂です。

消防機庫前での引渡し会



毛無尾共有林

現地確認作業

前号で参加者を募りました標記の作業、予定通り2月16日、区長有志8人と関係役員などから成る14名で行いました。

共有林の日常管理をお願いしている専門委員の江藤清次さんと吉田正一さんの先導のもと、周辺の支障木や蔓切り作業をしつつ、状況の確認、また、初参加者へ境界や当該共有林の経緯の説明をしながら、全員で美林の中を巡りました。

森林資源と水源涵養林の二つの存在価値を体感し、地区に寄贈された後藤 久氏の篤志、そして、手弁当で下草刈りをして美林に仕上げた頂いた先人の精神を学ぶ絶好の機会となりました。

美林の真ん中で集合写真
地域おこし協力隊の紅一点
が混じっています

